

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讚美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讚美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

ダニエル 3:17 もし、そうなれば、私たちの仕える神は、火の燃える炉から私たちを救い出すことができます。王よ。神は私たちをあなたの手から救い出します。

3:18 しかし、もしそうでなくても、王よ、ご承知ください。私たちはあなたの神々に仕えず、あなたが立てた金の像を拝むこともしません。」

3:19 すると、ネブカデネザルは怒りに満ち、シャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴに対する顔つきが変わった。彼は炉を普通より七倍熱くせよと命じた。

3:20 また彼の軍隊の中の力強い者たちに、シャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴを縛って、火の燃える炉に投げ込めと命じた。

3:21 そこで、この人たちは、上着や下着やかぶり物の衣服を着たまま縛られて、火の燃える炉の中に投げ込まれた。 3:22 王の命令がきびしく、炉がはなはだ熱かったので、シャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴを連れて来た者たちは、その火炎に焼き殺された。

3:23 シャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴの三人は、縛られたままで、火の燃える炉の中に落ち込んだ。

3:24 そのとき、ネブカデネザル王は驚き、急いで立ち上がり、その顧問たちに尋ねて言った。「私たちは三人の者を縛って火の中に投げ込んだのではなかったか。」彼らは王に答えて言った。「王さま。そのとおりでございます。」

3:25 すると王は言った。「だが、私には、火の中をなわを解かれて歩いている四人の者が見える。しかも彼らは何の害も受けていない。第四の者の姿は神々の子ようだ。」

3:26 それから、ネブカデネザルは火の燃える炉の口に近づいて言った。「シャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴ。いと高き神のしもべたち。すぐ出て来なさい。」そこで、シャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴは火の中から出て来た。

3:27 太守、長官、総督、王の顧問たちが集まり、この人たちを見たが、火は彼らのからだにはききめがなく、その頭の毛も焦げず、上着も以前と変わらず、火のおいもなかった。

Dan3:17 "If that is the case, our God whom we serve is able to deliver us from the burning fiery furnace, and He will deliver us from your hand, O king.

3:18 "But if not, let it be known to you, O king, that we do not serve your gods, nor will we worship the gold image which you have set up." 3:19 Then Nebuchadnezzar was full of fury, and the expression on his face changed toward Shadrach, Meshach, and Abed-Nego. He spoke and commanded that they heat the furnace seven times more than it was usually heated.

3:20 And he commanded certain mighty men of valor who were in his army to bind Shadrach, Meshach, and Abed-Nego, and cast them into the burning fiery furnace. 3:21 Then these men were bound in their coats, their trousers, their turbans, and their other garments, and were cast into the midst of the burning fiery furnace.

3:22 Therefore, because the king's command was urgent, and the furnace exceedingly hot, the flame of the fire killed those men who took up Shadrach, Meshach, and Abed-Nego. 3:23 And these three men, Shadrach, Meshach, and Abed-Nego, fell down bound into the midst of the burning fiery furnace.

3:24 Then King Nebuchadnezzar was astonished; and he rose in haste and spoke, saying to his counselors, "Did we not cast three men bound into the midst of the fire?" They answered and said to the king, "True, O king."

3:25 "Look!" he answered, "I see four men loose, walking in the midst of the fire; and they are not hurt, and the form of the fourth is like the Son of God." 3:26 Then Nebuchadnezzar went near the mouth of the burning fiery furnace and spoke, saying, "Shadrach, Meshach, and Abed-Nego, servants of the Most High God, come out, and come here."

Then Shadrach, Meshach, and Abed-Nego came from the midst of the fire. 3:27 And the satraps, administrators, governors, and the king's counselors gathered together, and they saw these men on whose bodies the fire had no power; the hair of their head was not singed nor were their garments affected, and the smell of fire was not on them.

「もし神が私たちが助けなくても。」 ダニエル3章17～27節

ネブカデネザル王は、ダニエルが解き明かした夢に喜び、バビロン帝国が金の頭だけでなく、永遠に続くようにと全身が金で出来た26mもの高さの像を造り、これをひれ伏して拝むように全てのの人に命じました。そして、拝まない人は、燃える炉に投げ込まれると警告されたのです。これは偶像を拝まないユダヤ人に対する攻撃です。

私たちはキリスト者としての信仰を持っていますが、確信を持っていない人々は、信仰や信念を持っている人々を揺さぶり、誘惑をします。背後にはサタンの狙いがあるのですが、信仰を固持することは神の国への道であり、それを揺さぶることによって自らの不信仰を正当化するのです。実は、信仰に入っている人々にも、処世や興味で入信することは多く、そこから真の信仰者になるか、脇に反れるかは、その人の判断と責任、そして人格に依るのです。それを結果的には選別として理解するのです。

シヤデラク、メシヤク、アベデネゴは、「私たちはこのことについて、あなたにお答えする必要はありません。もし、そうならば、私たちの仕える神は、火の燃える炉から私たちが救い出すことができます。王よ。神は私たちがあなたの手から救い出します。しかし、もしそうでなくても、王よ、ご承知ください。私たちはあなたの神々に仕えず、あなたが立てた金の像を拝むこともしません。」(3・17-18)と大胆に答えます。王よりも、自分たちの信じる神を上位に置くのです。日本人には、この位置づけをできる人はあまりいません。仕事を家族よりも上位に置き、信仰は生活を左右するものとしては位置づけられず、都合によって簡単に脇に置かれます。そういう人が、いざという時に神の助けも家族の助けも得られることは得ないでしょう。追隨型の人が有能な仕事ができることもありません。

さらに「しかし、もしそうでなくても」という言葉が凄いです。神様は自分の味方と考えて、何度も助けてくださる、と考える人は、自己中心です。ヨシユアが指導者になりたての頃、抜身の剣を持った人が前方に立っていました。ヨシユアが、「あなたは私たちの味方ですか、それとも敵ですか。」(ヨシユア5・13)と尋ねると、「いや、わたしは主の軍の将として、今、来たのだ。」(17)と答えます。ヨシユアは自分の傲慢にすぐに気が付き、「顔を地に付けて伏し拝み」ました。神を自分の都合の良いように利用しようとしてはなりません。「もし、神が私たちが助けなくても、私は神を信頼する。」というのが、真実の信仰姿勢です。

シヤデラク、メシヤク、アベデネゴは、灼熱の炉の中に投げ込まれましたが、炉の中で神の使いに縄を解かれ、何の害も受けませんでした。「いと高き神のしもべたち。すぐ出て来なさい。」(26)とネブカデネザルが言うのと、その三人は出てきました。「神は御使いを送って、王の命令にそむき、自分たちのからだを差し出しても、神に信頼し、自分たちの神のほかはどんな神にも仕えず、また拝まないこのしもべたちを救われた。」(28)と王は、その信仰と信念を讃えます。

あるクリスチャン青年が日本に来て、酒を飲むことを覚えてやめられなくなりしました。彼は、酔いどれて炬燵に寝てしまい、部屋は火事で焼け崩れましたが、彼は顔の上に置いた聖書で焼け死ぬことを免れました。悔い改めて献身を近い、国際的な宣教団体に入って、当教会で奉仕をしました。酒を止めることができずに隠れて飲んでおりました。生活が崩壊したので帰国させましたが、そのアパートは全く掃除をせず、家賃も滞納しておりました。帰国後の彼は惨めな生活で、私への借金は全く返されていません。彼には毎月援助していましたが何もしていませんでした。せつかく、超自然的に命を救われても、彼はその恵みを神への奉仕に変えなかつたのです。救いや神の祝福に溺れて甘えると、生活を崩壊させます。

神が自分の都合の良いように助けてくださると考える人は、信仰者として強く生きることができません。信仰というものは、教えられた教理や生活の仕方を行うことではなく、神の御心を探り、神が自分に期待された生き方を、たとえ苦しくても、犠牲が大きくても、時間が掛かろうとも、行っていくものです。

現代生活で、信仰者にとって大きな課題は節制です。ユーチューブ礼拝は便利なのですが、家事や仕事をしながら参加するのは、神を冒瀆するものです。便利な自己都合は、信仰を墮落させます。働かなければ食べていけないという人は、そういう仕事を選ぶことを優先した自己都合を反省していません。また、経済優先の生活を再検討していません。

シンの実を調理して配りました。毎日素材から調理していれば、食費は節約でき健康も確保できます。塾に行かなければ成績が良くならないという考え方は、ダメな子を育て上げます。サプリや薬によって健康になるのではなく、健康的な生活をするによってなるのです。都合の良い生活は、人間をダメにします。